

裏印の「Made in Occupied Japan」＝「占領下の日本製」

陶磁器の裏底に「Made in Occupied Japan」または「Occupied Japan」といった裏印が付けられている製品があります。

何時そのような原産国表示が付けられたのでしょうか。何故 Occupied(占領下)といった文字が付けられたのでしょうか。

ご承知のように、日本は1945(昭和20)年8月15日に敗戦となり、1952年(昭和27)年4月28日に講和条約が発効するまで、米国および英連邦を主体とした連合軍に占領されていました。その間は連合軍の総司令部、いわゆるGHQ(ジー・エイチ・キュー)の指令が最高の法令であり、その指令の一つにより1947(昭和22)年2月に、日本から輸出するものに「Made in Occupied Japan」を表示することが義務付けられました。

この指令は1949(昭和24)年2月に改正され、原則として Occupied は不要になりましたが、いろいろな事情があって講和条約の発効前後までこの表示を続けた会社が多かったようです。

ちなみに、米国では Occupied Japan が付けられている陶磁器は、収集品(コレクターズ・アイテム)として非常にもてはやされており、参考本が多数発行され、収集家の年次大会も催されています。

なお、米国、カナダ、オーストラリアなどでは、輸入品に原産国を表示することを法律で義務づけており、講和条約発効後も日本からそれらの国に輸出する場合は「Made in Japan」または「Japan」を必ず表示しています。その他の国に輸出する場合でも、多くの会社はそれらの表示を付けています。